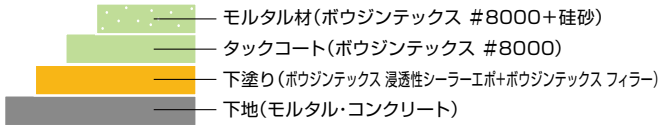


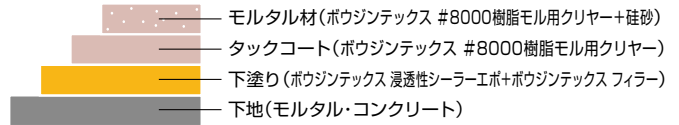
BOUJINTEX #8000

塗装工程 樹脂モルタル工法・樹脂モル仕上げ (膜厚5mm)

エナメル使用



クリヤー使用



塗装仕様

■エナメル使用 (約5mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ポウジンテックス 浸透性シーラー-エポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ポウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ポウジンテックス #8000 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg 砂90kg	—	金ゴテ	1	10.5 (砂砂含む)	10	20分	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する砂は、5号を60kg+6号を30kgにてご使用ください。
※シーラー塗装の際、すい込みがほしい場合はフィラーなしの浸透性シーラー-エポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)

■クリヤー使用 (約5mm仕上げ)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	ポウジンテックス 浸透性シーラー-エポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ポウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.3	70	20分	—	0.5h以内	—
ベースコート モルタル材	ポウジンテックス #8000 樹脂モル用クリヤー 主剤15kg 硬化剤6kg 砂170kg	—	金ゴテ	1	8.0 (砂砂含む)	19	20分	—	14h以上 48h以内	16h以上 完全硬化2日以上

※ベースコートモルタル材に使用する砂は、5号を90kg+6号を80kgにてご使用ください。
※シーラー塗装の際、すい込みがほしい場合はフィラーなしの浸透性シーラー-エポを再度塗装してください。(工程内塗装間隔1h以上)
※樹脂モルタル工法・樹脂モル仕上げについては抗菌仕様は不可です。ご注意ください。

注意事項

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは硬化不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
- エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色いたしますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しが入り込む窓際への塗装もご注意ください。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。
万一、水を含んだモップ等にて清掃された場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
- クリヤーは上塗り用として使用不可です。
- 主剤と硬化剤の混合はハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分攪拌してください。
- 攪拌後は速やかに砂と混合してください。混合にはモルタルミキサーをご使用ください。
- タックコートを塗付後30分以上おくとモルタル材が付着しなくなるので素早く施工してください。
- クラック・フウセン等の処理は、下塗り養生後、エポキシパテおよび増粘剤調整塗料にて行ってください。
- 粘度調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料に対して、約1%(150cc)から約3%(450cc)までの添加にしてください。
また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不良の原因となります。
- ベースコートモルタル材に使用する砂の組み合わせは、3号~6号砂の組み合わせが可能です。(3号+6号は不可)
また砂の組み合わせにより、塗料と砂の比率が変わりますのでご注意ください。
- 樹脂モル仕様は、4mm以上で行います。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気や気付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 静電気をさう床には施工しないでください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。